

水田美術館

水田美術館

水田美術館

<沿革・概要>

城西大学水田美術館は、本学創立者である水田三喜男初代理事長が永年に亘り蒐集した浮世絵コレクションを母胎として、1979年3月水田記念図書館8階に創設されました。

水田コレクションは、役者絵と美人画を中心に、菱川師宣から宮川長春、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、葛飾北斎など、初期浮世絵から幕末明治に至るまでの肉筆・版画で構成され、浮世絵の流れを体系的に通観できる内容となっています。なかでも、国際的な評価も高く、コレクションの価値を高める東洲斎写楽の版画が9点含まれていることも大きな特色です。

1979年の創設以降、日本の文化の発展に寄与することを目的に、コレクションの公開を行ってきました。その流れを引き継ぎ、本学創立45周年記念事業の一環として、2011年12月、坂戸キャンパス内に新美術館が開館しました。当館では、コレクション公開や特別展とともに、大学の紹介、大学がある坂戸市や埼玉県など地域ゆかりの文化の紹介、そのほか企画展を行っています。

また、地域連携・地域貢献となる社会教育施設を目指しながら、本学教員と連携を図り、美術館事業に学生が参与し、その過程や成果を授業に還元することで教養教育の場としての役割も担っています。

<施設>

地上2階建て

ギャラリー1、ギャラリー2、映像コーナー、その他休憩スペースあり
美術館グッズおよび大学グッズも販売しています

<主な所蔵品>

菱川師宣《見立石山寺紫式部図》

宮川長春《見立業平東下り図》《江戸風俗図巻》

鈴木春信《六玉川》(6図すべて揃うのは、当館とニューヨークのメトロポリタン美術館のみ)

鳥居清長《風俗東之錦 凧の糸》

喜多川歌麿《太夫と禿図》《針仕事》

東洲斎写楽《松本米三郎のけはい坂の少将実はしのぶ》《二代目嵐龍蔵の金貸石部金吉》

葛飾北斎《化粧美人図》《詩哥写真鏡 春道のつらき》

月岡芳年《金太郎図》《風俗三十二相》

浮世絵の他、上村松園《美人納涼図》、鏑木清方《富士額》、伊東深水《春の夕暮》、

前田青邨《紅白梅》、菱田春草《春景山水》などの近代日本画も所蔵。

<ホームページ> <https://www.josai.ac.jp/~museum>

■ 2022年4月～2023年6月頃まで、学内工事の関係により美術館は休館となります■

※休館中は、美術館主催の講座やワークショップを開催する予定です。

講座等の詳細、開館再開情報のご案内はホームページをご覧ください。